

これまでの成果と今後の在り方

日時：2011年8月22日（月）9:30-15:45

場所：神戸国際会議場 5階 501号室
（兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1）

主催：文部科学省 脳科学研究戦略推進プログラム

「脳科学研究戦略推進プログラム」(脳プロ)は、社会への応用を明確に見据えた政策課題対応型研究開発プログラムの一つであり、平成20年度に発足した。

現在、脳プロで実施しているAからEの5課題のうち、研究期間が残り2年となった2課題、「課題A:ブレイン・マシン・インターフェース(BMI)の開発」と「課題C:独創性の高いモデル動物の開発」について、これまでの研究成果を紹介する。

課題A

- ・侵襲・低侵襲デコーディングの技術と脳内活動推定の技術及びその臨床へ向けた応用
- ・BMIを活用したリハビリテーション技術の開発

課題C

- ・マカザルにおけるウィルスベクターを用いた経路選択的な機能阻害やオプジェネティクスを用いた応用研究
- ・遺伝子改変マーマセット作製とマーマセットの脳形態情報および行動認知機能解析法の確立

これらの成果をもとに、脳科学研究コミュニティや社会全体への効果、および新しい展開を視野に入れた脳科学研究のあり方について議論を展開したい。

今後脳プロが、より革新的で社会の要望に広く応えるプロジェクトを提案し、コミュニティの研究基盤強化を推進するべく、技術開発やリソースの普及促進についても言及する。

本ワークショップでは、脳プロに参画しておられない専門家の先生より、現状及び今後の展望へのご意見をいただきつつ、ワークショップ参加者との総合的な議論を進めたい。

9:30～10:00 (30分)	開会挨拶 課題A、Cの目標・戦略・運営に関して プログラムディレクター 中西重忠
10:00～12:00 (各45+15分)	各課題の成果と新しい研究目標 座長：プログラムオフィサー 陣上久人 ・課題Cについて・・・・・・・・・ 拠点長 伊佐正 ・課題Aについて・・・・・・・・・ 拠点長 川人光男
《昼休憩》	
13:00～14:20 (各15+5分)	各課題に関する有識者からの提言 座長：プログラムオフィサー 赤澤智宏 ・課題Cに関して 東北大学包括的脳科学研究・推進センター長 丹治 順 金沢大学大学院薬学系教授 米田幸雄 ・課題Aに関して 慶應義塾大学理工学部教授 安西祐一郎 九州大学大学院薬学研究院教授 井上和秀
《休憩》	
14:30～15:40 (70分)	総合討論 座長：プログラムディレクター 中西重忠 安西祐一郎、井上和秀、丹治 順、米田幸雄、川人光男、伊佐正
15:40～15:45 (5分)	閉会挨拶 プログラムディレクター 中西重忠

(敬称略)